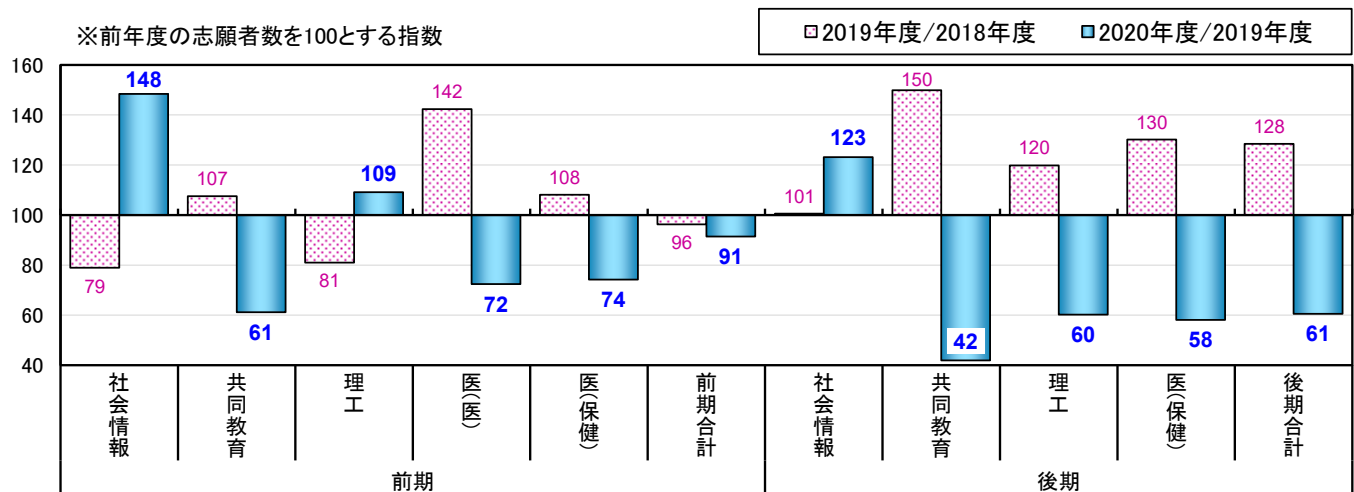


2020年度入試状況分析【国公立大】

群馬大：前期は5年連続減少、後期は大幅減少

前期：-138人 後期：-638人



(注)共同教育の2019年度・2018年度は旧教育との比較

入試変更点

学部改組：共同教育<前>…宇都宮大と合同で共同教育学部を設置
 教育(学校/国語、社会、英語、数学、理科、技術、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児)
 →共同教育(人文社会系/国語、社会、英語、自然科学系/数学、理科、技術、芸術表現・生活・健康系/音楽、美術、家政、保健体育、教育人間科学系/教育、教育心理、特別支援教育)
 ※群馬大のキャンパスで学修し、一部宇都宮大の単位も履修する
 募集人員：理工<前>…(化学・生物化学)86人→91人、(環境創生理工)50人→55人、(電子情報理工)70人→76人
 医(医)<一般枠><前>…67人→65人
 第1段階選抜実施基準：医(医)<前>…約3倍(通過予定人数：219人)
 →志願者数が一般枠で189人程度、地域医療枠で24人程度を超えた際に実施

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は138人(91)の減少で5年連続減少、志願者数は1,500人を下回った。後期は前年度大幅増加の反動で638人(61)の大幅減少で、志願者数は1000人を下回った。

<前期日程>

- 社会情報(148)は、前年度大幅減少の反動と系統への高い人気から大幅増加。
- 共同教育(61)は、2年連続増加の反動、募集人員の減少、系統への低い人気から大幅減少。専攻別では、13専攻中(学校教育/人文社会系-英語)のみが前年度と志願者数が同じだったが、他の12専攻はすべて減少。
- 理工(109)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では5学科中3学科が増加、特に(化学・生物化学)(129)は大幅増加。一方で減少した2学科の減少人数は10人未満だった。
- 医(医)(72)は、前年度大幅増加の反動で、大幅減少。
- 医(保健)(74)は、2年連続増加の反動で大幅減少。専攻別では、(保健/理学療法)(121)は大幅増加だが、他の3専攻はいずれも大幅減少、特に(保健/作業療法)(39)は6割減の大幅減少。

<後期日程>

- 社会情報(123)は、系統への高い人気から大幅増加。開設2年目の2017年度以降、増加が継続。
- 共同教育(42)は、前年度大幅増加の反動、募集人員の減少、系統への低い人気から半減以上の減少。募集が廃止となった専攻を除いても(51)とほぼ半減。専攻別では、(学校教育/教育人間科学系-特別支援教育)(130)が旧(学校教育/障害児)との比較で大幅増加し、唯一増加した専攻だった。
- 理工(60)は、前年度大幅増加の反動と個別試験が面接のみということで、センター試験の平均点ダウンの影響を大きく受けて大幅減少。学科別では、(電子情報理工)(116)は大幅増加、フレックス制の(総合理工)(98)は微減だったが、他の3学科は大幅減少。特に、(化学・生物化学)(41)、(機械知能システム理工)(42)は半減以上。
- 医(保健)(58)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別では、すべての専攻が減少で、看護(97)を除いて大幅減少、特に(保健/作業療法)(25)は前年度の4分の1の志願者数。